

森林分野の研究成果



シラカンバ・ダケカンバが建材、楽器やバットに！

森林研究本部

背景・目的

- ・シラカンバやダケカンバは、北海道では非常に蓄積量が多い広葉樹であり、成長も早いため、持続的に利用できる資源として期待できる。
- ・しかし細いものが多く、また曲がりや節などの欠点があるため、9割以上がパルプ用チップや割り箸などの消耗品になっている。
- ・シラカンバとダケカンバをより有効に活用するため、効率的な加工方法や特性を活かした新たな用途の開発を目指した。

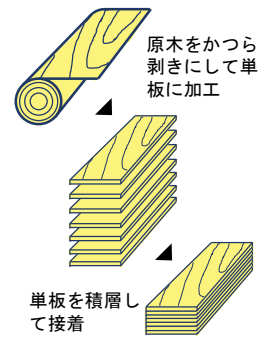
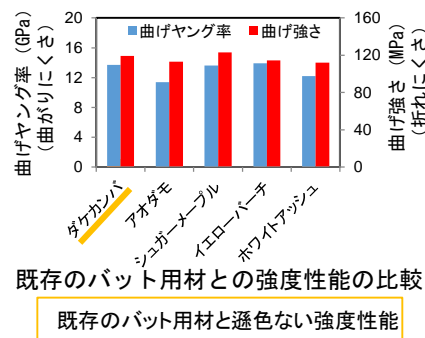


シラカンバ

成果

フローリングや家具に加え、楽器や野球のバットなど新しい用途にも！

- ・細い材は単板に切削して積層加工することでフローリングなどの建築物の内装材に、太い材は無垢材※として家具にするなど、効率よく高価値な用途に利用できることを実証した。
- ・振動しやすく、その振幅が適度に減少する特徴から楽器に、高強度と適度な密度であることから野球のバットに使用できることを明らかにした。



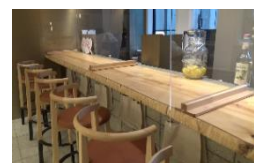
<用語の解説>

※無垢材：合板や集成材などのように接着剤で貼り合わせることなく、使用する形状で丸太から切り出した木材。

成果の活用

家具を店舗が採用 ハープの商品化 バットがプロ野球公式戦でデビュー

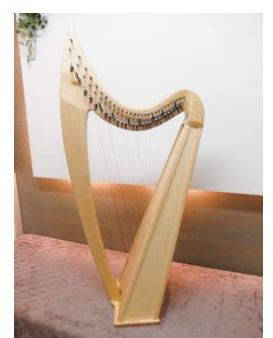
- ・シラカンバの製品を継続的に利用するため、森林の更新・育成から製品の開発・製造、販売を行う関係者が一般社団法人白樺プロジェクトを設立し、シラカンバの普及活動を行っている。
- ・各種店舗（レストラン、カフェ、化粧品店等）でシラカンバ家具が広く使用されている。
- ・シラカンバ製のアイリッシュハープが商品化された。
- ・プロ野球公式戦で、初めてダケカンバ製バットが使用された。



樹皮付きシラカンバのカウンターテーブル



ダケカンバ製バット
田中賢介元選手（元北海道日本ハムファイターズ）が公式戦で使用



シラカンバ製アイリッシュハープ
（プロの演奏家が使用）

<関連論文・特許など>

【1】大崎久司ら(2019), 北海道厚真産カンバ人工林材の材質特性, 木材学会誌, 65巻, p189-194

問い合わせ先：森林研究本部 林産試験場 性能部 構造・環境グループ (TEL:0166-75-4244)

